

校長室にある 花瓶

平成 11 年に刊行された栗山高校の 70 年史に（記念の花瓶 大正 11 年 私立裁縫女学校 第 3 回、別科第 4 回卒業記念 校長室に保管）とあります。当時卒業記念として学校に寄贈されたものです。

この花瓶の下に貼られている紙には、昭和 45 年頃に物置の片隅にしまい込んであったものを校長室に移動して飾ったとあります。

また、昭和 49 年の校舎改築記念誌の 31P には、「私立裁縫学校第 3 回、別科第 4 回の卒業生寄贈の花瓶で、九谷焼き総絵柄の 2 尺 6 寸 5 分。両面使用の画法で、一面は流水湧雲の中で相送別離の公家二人絵、他面は合わせ舞双扇子二人女図に子女二人を遠望に配した舞台絵である。今も置物として、花器として式場や校長室に華を添えている。」と書かれています。

90 年以上の歴史があるものです。あらためて栗山高校の当時の歴史を垣間見ることができるものです。



記念の花瓶（大正11年 私立裁縫女学校第3回、別科第4回卒業記念）校長室に保管



現在も校長室に飾られています

栗山高校 70 年史掲載写真より